

利用者と相談件数について

表 1 について、新規件数は、2021 年度に受理したケース数です。継続件数は、2020 年度以前に受理し、2021 年度 4 月時点で継続していたケース数です。心理アセスメント件数は、WAIS-IV や WISC-IV 等の知能検査、ロールシャッハ・テスト、P-F スタディ、描画テスト等の人格検査ほか幅広く実施しており、他機関からのご紹介も多く頂いています。コンサルテーションについては、教育機関や行政機関等の各関係機関に対して実施しており、多方面との連携に努めています。

来談者の年代内訳は表 2 の通りで、5~9 歳から 70 歳以上の方もおられます。女性では特に 40 歳代の来談件数が多いですが、幅広い年齢層の方が来談されています。

また当センターでは、「家族カウンセリング」の割合が多く、学齢期のお子さんの相談で来所される保護者の方が多いです。男性では年齢によって人数に偏りはあまりみられませんが、医療機関からの紹介を受けて自身の問題で来談される方やお子さんのことで来談されるケースがみられます。

表 1. 利用者数

新規	本年度新規	再申込新規	継続	延べ相談回数	心理アセスメント	コンサルテーション
51	49	2	62	1146	16	12

表 2. 来談者の内訳

年齢	男性 (%)	女性 (%)
0~4	0 (0.0)	0 (0.0)
5~9	5 (22.7)	3 (3.4)
10~14	4 (18.2)	8 (9.0)
15~19	1 (4.6)	7 (7.9)
20~29	0 (0.0)	7 (7.9)
30~39	3 (13.6)	14 (15.7)
40~49	5 (22.7)	28 (31.5)
50~59	2 (9.1)	14 (15.7)
60~69	0 (0.0)	6 (6.7)
70歳以上	2 (9.1)	2 (2.3)
不明	0 (0.0)	0 (0.0)
計	22 (100)	89 (100)

表 3. 居住地別来談者数

住所	新規 (%)
京都市 (左京区)	18 (36.7)
京都市 (左京区以外)	23 (46.9)
京都府西部	2 (4.1)
京都府南部	4 (8.2)
京都府北部	1 (2.0)
近畿圏 (京都府以外)	1 (2.0)
他都道府県 (近畿圏以外)	0 (0)
計	49 (100)

(各地域の範囲)

京都西部: 亀岡市、向日市、長岡京市、大山崎町

京都南部: 宇治市、八幡市、久御山町以南

京都北中部: 南丹市以北

相談内容について

当センターでは、新規来談者の相談内容について表 4 のように分類しています。2016 年度より、相談種別分類の項目を改定し、相談業務に役立てています。

相談種別分類によると、当センターでお受けしている相談内容は、「家族の問題」、具体的には育児や夫婦関係など、家族に関する相談が最も多くなっています。次いで多いのは、「学校での問題」です。今後も引き続き、各機関との連携をはかりながら、よりよい相談体制を整えていきたいと考えています。

表 4. 相談種別分類

相談種別	全体
学校での問題	12
発達に関する問題	10
家族の問題	19
職場での問題	3
精神症状に関する問題	2
対人関係の問題 (学校・家族・職場以外)	2
生き方・性格に関する悩み	3
身体疾患・身体障害にまつわる問題	0
その他	0
計	51

京都府立医科大学附属病院内「こころの相談コーナー」相談実績

本学と京都府立医科大学との大学間連携に基づき、2015 年度より心理臨床センターの事業として開設された「こころの相談コーナー」の 2021 年度相談実績は表 5 の通りです。なお、Covid-19 の感染拡大により現在は NICU でのラウンドを休止し、病棟との連携により外来での個別相談を実施しました。

表 5. 「こころの相談コーナー」相談者の内訳

性別	件数		年代	件数	
	男性	女性		20歳代	30歳代
立場	家族・親戚	6	年	40歳代	1
	本人	27		50歳代	3
その他	0	60歳代		20	
新規相談件数: 10件		70歳代		3	
延べ相談回数: 33件		80歳代		0	

開室日時: 週 2 日 (月・木) の午前中
相談員: 各 1 名 (延べ 2 名)

開室状況

京都府下における緊急事態宣言の発出に伴い、2021年4月下旬から6月中旬、8月中旬から9月下旬の間、新規受付を中止しました。その間は継続来談者を対象に開室し、感染防止対策を徹底しつつ対面相談を実施、緊急事態宣言解除に伴って、受理数を制限しつつ新規受付も再開しています。

感染防止対策

来談者、スタッフ双方が来所前の検温や体調チェックを行い、発熱や体調不良があれば来所を見合わせることにしました。マスク着用の上、来所時に手指消毒と体調について確認、カウンセリング及び心理検査時も窓とドアを少し開けて換気の上、机の上にアクリル板を設置して実施しています。プレイセラピーではセラピー前後に石けんで手を洗い、プレイ中の接近や接触も極力控え、セラピー後の玩具消毒を実施しました。玩具も消毒の難しい砂場は使用禁止、布製の物などは撤去し、消毒と換気に時間を取るため、予約枠がやや少なくなりました。このような対策について、来談者には口頭で説明の上、同意書を交わし、スタッフにはマニュアルを周知徹底しました。

感染予防を第一としながらも、制限がある中で心理的支援として何ができるかを常に考えたいと思っています。

心理臨床センター 概要

スタッフ構成

2022年3月時点

役職	人数	構成員の所属
専任相談員	9 (9)	心理学研究科教授、准教授、講師
専門相談員	1 (1)	
博士前期課程1年次生	8	
博士前期課程2年次生	9	
研修員	9 (7)	
専門事務職員	1 (1)	
客員スタッフ	1 (1)	京都大学学生総合支援センター教授
計	38 (19)	

※()内は公認心理師・臨床心理士等の有資格者数

料金表

初回面接	3000円
カウンセリング	2000円/50分
親子並行面接	3000円/50分
コンサルテーション	3000円
心理検査	2000円/1時間
	3000円/2時間
文書料	1000円/1通

施設 見取り図

